

(4) 幼稚園の実践例

【八代市立植柳幼稚園の実践】

① 園児の様子と体力向上に関する課題について

ア 園の特徴

本園は、年少児6名、年中児6名、年長児5名の計17名が在籍する園である。自然が多く、園庭も広いため、園児たちはのびのびと遊びを楽しむことができる環境にある。しかし、少人数であるため、友達と一緒に運動遊びに取り組み、できるようになった喜びを共有したり、競い合ったりする経験が少ない。固定遊具や運動用具が豊富にあるので、進んで運動遊びに取り組める環境づくりを工夫している。

イ 園児の様子から見える体力的な課題

室内でのごっこ遊びや製作遊びを好む傾向にあり、進んで戸外で遊ぶ子供が少ない。そのため、運動経験に関する個人差が大きい。戸外での遊びに限らず、運動遊びに対して消極的な園児が多いため、苦手なことに挑戦しようとしなかったり、取り組む前に諦めてしまったりする姿がある。また、体幹が弱いため、姿勢が崩れやすく、話の途中で姿勢が崩れ、寝転んでしまったり、椅子の上に膝を立てたりする園児がいる。

② 課題を踏まえた本園の目標

やってみよう！を大切に ～自ら体を動かす楽しさを味わう保育を目指す～

③ 取組の計画

(1) 健康の教育計画

＜本園の教育目標＞
心豊かにたくましく生きる力の基礎を育む

＜めざす健康づくり＞
① 健康な生活習慣を身に付け、心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。
② 心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。
③ 心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。

＜本園の健康づくりの方向性＞
1. 食生活の改善
2. 生活習慣の改善
3. 心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。
4. 心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。
5. 心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。

＜本園の健康づくりの方向性＞
1. 食生活の改善
2. 生活習慣の改善
3. 心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。
4. 心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。
5. 心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。

＜本園の健康づくりの方向性＞
1. 食生活の改善
2. 生活習慣の改善
3. 心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。
4. 心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。
5. 心身の健康を維持し、たくましく生きる力を育む。

4. 子供の生活及び勤務の割り振り

園児	職員	勤務開始
8:30	登園 所持品の整理 小動物、栽培物の世話 自ら取り組む遊び 片付け	8:30
10:30	園全体又は クラス活動 (製作遊び、運動遊び、 言葉遊び、絵本指導など)	10:00
11:30	給食の準備 給・食 片付け・遊みがき	11:30
13:00	自ら取り組む遊び 片付け	13:00
14:00	帰りの会(一日の振り返り) 降園準備 降園 ・年少組 ……14:30 ・年中・年長組 ……14:40	14:00
14:30		14:30
14:40		14:40
15:40	預かり保育【利用者のみ】	15:40

職員 勤務開始

8:30 園境整備(保育室、種痘箱) 健康指導
9:00 一人一人を笑顔で迎える 挨拶
9:30 自ら取り組む遊び 【遊びを中心とした総合保育】 わくわくタイム
10:00 園全体・クラス活動 【健康指導を中心とした総合保育】
・子供が主体的に遊べるように
・子供が主体的に関わるような環境
・遊んで人に関わり、共に遊ぼう
・一人一人を笑顔にする教師の関わり

11:30 給食の準備
給食指導・片付け
給食き指導

13:00 自ら取り組む遊び
【遊びを中心とした総合保育】
片付け
帰りの会
一日の振り返りと明日への
つなぎの時間となるようにする
保護者連絡
降園
室内外清掃

14:00

14:30 預かり保育(シフト制)

15:40 休憩
事務整理
園内研修
保育計画、行事等打合せ
子供の姿の記録
教材研究、
保育準備など
防護 点検・確認

勤務終了

年間計画への位置づけ

毎日の保育への位置づけ

毎日登園後、全園児で体操をしたり集団遊びをしたりする「わくわくタイム」の時間を設け、友達と一緒に体を動かす楽しさを感じられるようにしている。また、アクティブチャイルドプログラムやサッカー教室などで外部講師を活用し、多様な動きの経験ができるよう計画している。

④ 取組の実際

ア わくわくタイムの実施

毎日、朝9時10分から全園児で体操や集団遊び、運動遊びなどを取り入れた体を動かす時間を設定している。友達と一緒に体を動かすことで、楽しんで取り組み、やってみたいという気持ちが見られた。



リズム体操



運動遊び



集団遊び

イ 外部講師等の活用

10月にアクティブチャイルドプログラム、サッカー教室、11月には、まり遊びの外部講師を招いた。多様な動きの経験ができ、自らやってみたくなるような遊びを教えてもらい、教師自身にとっても指導力向上に繋がる機会となった。保育活動にも生かすことができ、園児たちも自ら運動遊びに取り組む姿が見られるようになった。

アクティブチャイルドプログラム



サッカー教室

外部講師と一緒にまり遊び



ウ 運動遊びカードの実施

運動遊びに対し、消極的な園児も自らやってみたくて思えるように「まり遊びがんばりカード」や「〇〇ぐみ修行カード」を作成した。できるようになるとシールを貼り、できるようになったことが可視化できるようになるため、できるようになるまで何度も挑戦する姿が増えた。



まり遊びに挑戦!



跳び箱跳べるようになりたいな!



④ 成果と課題

- ◎ わくわくタイムを取り入れたり、運動遊びカードを作成したりしたことで、友達と一緒にやってみたいという意欲が高まり、自然と運動遊びに取り組む姿が見られるようになった。
- ◎ 外部講師を活用し、園児たちが多様な動きを経験する機会ができた。また、教師の指導力向上にも繋がった。
- ▲ やってみようとする気持ちは出てきたが、すぐに諦めてしまう園児もいる。できるようになる喜びを感じられる環境づくりや援助に努めたい。